

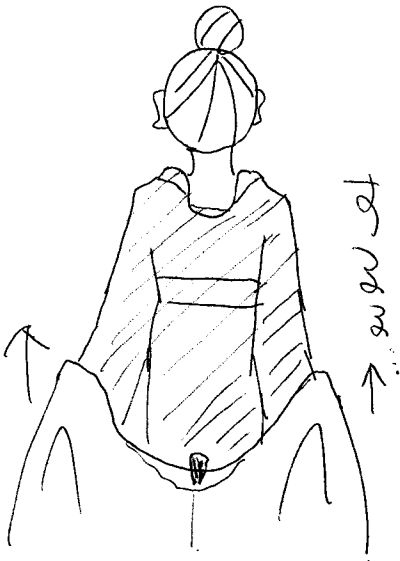
# 着物の着方

① えりにスナップボタンがっついてたら  
とめましょう。

たけがば、念のため、えりを  
内側に折って、せんたくバサミ  
でとめましょう



② 着物をはきます。



長じゆばんのえりが  
形崩れしてしまいうに  
そうっと肩にのせます。

長じゆばんと着物の  
えりが合ったら、  
せんたくバサミで  
合わせてとめておく。

③ えどを通します。



この時、長じゆばんの  
えどを掴んだまま、  
着物のえどを通して、  
えどを通し玉子手前が  
長じゆばんのえどをは  
たすと、よいです。

④ えどを整えます。



えどの、(本体)  
のほしを  
ちよいちよいつ  
とる/張って  
ととのえます。

⑤ 着るよー



まず、すそを長さを  
あわせ子ので、  
たよるべく着物の  
えりの下の方を  
つかみます。(両方)

体の左側のぬいあ  
わせ線が、  
体の横の真ん中に  
くまうに合わせ  
ます。

見下ろし図



次に、すそを長さを  
あわせます。  
見下ろして、着物の  
はしから先が

もれるかもたないか  
くらい。

日常着ならもう少し短くても  
いいですが、たぶん着運める  
うちに上か子ので、はじめは  
すそすそ地面にして下さい。

⑥



右手で掴んでるとこそ  
Bodyの方へ...  
一番はしをくいと  
上に少しだけあげます。  
上半身は二の時「は」  
だけ「お」しめてOK!  
そのまま右腕はキ-70。  
左の手で「は」さめようなら  
「は」さんでもいいよ。

⑦



左手で掴んでいるところ  
もBodyの方へ...  
こはもはしをくいと  
上げておきましょう。  
めっちゃ重くてねん...って  
方はかなり上げてOK。  
右手で腰ひもをとります。  
(真ん中をつかんでね)

⑧ 腰ひもをつけます。

20代~30代であれば、ウエスト  
の細いところ。  
もう少し年輩なら、骨盤のあた  
りでしめます。

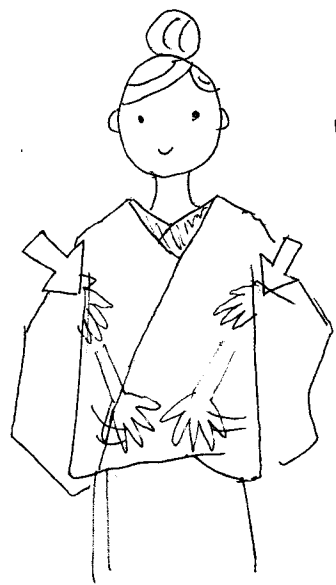
「まはしり」  
帯の下からのぞく  
この部分

着物の大きさや帯の位置で  
かゆるものですよ。  
若い方は、帯は高い位置  
がいいので、おはしりも高い  
位置でできるといいですよ。

腰ひもはまたねかの中心から  
あて、うしろで交差、前で  
しっかりしめて(苦しくないで!)  
ちまうちを結ひをします。  
~~~~~  
ちまうちのはしは、ハミ出ない  
ように、巻いたひものところに  
巻きこみます。



⑨ <sup>みやつち</sup>「身ハツロ」から手を入けて整えます。



ゆきの下から、着物の中に手を入れます。ゆきの下の開いてるところを身ハツロと云います。シワをのばして、おはしりがきれいに見えるように、



前側、うしろ側(背中)もとのえます。特に、うしろは、あしりのあたりでモタついたりしているので、ちよっとヨリ長ったりしはから整えます。

※ すそがよからぬよう注意。

⑪ もう一度左側のえりをかきなおして整えます。



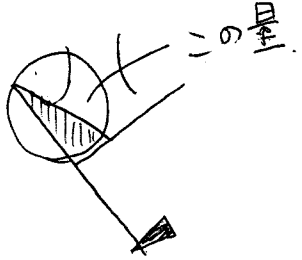
⑫ 胸の下で腰ひもをゆるく結びます。前からあてて、うしろをぐまりとまわって前結び。結び方は長じゆばんの2回ぐるぐるまわって左右もちかえて、サント!

⑩のせんだくバサミを外します。⑬ たてじめをしっかりと結びます。前からあてて、うしろをぐまりと、~~前結び~~ キュッと締め、前結び。結び方は⑫と同。

⑩ 右側のえりをせんだくバサミでとめる。



おはしりがダブつかないようにする処理です。右側のえりをぐいとひっぱると、えりをたす量をきめて、



あまたえりを二重にかきおこして、せんだくバサミではさみます。

④ ととのえます。



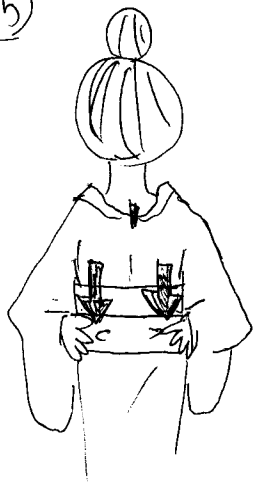
前からあててしゆのちよといるとよがあかいはゆきの方へ、ダーツをませきうらにととのえます。



背中も、たてじめのすじ上をまみ、ゆきへぐとひきます。

※ せんだくバサミは身ハツロからあとでとりだすので、たすきは、左のゆきの方でうつ。

⑮



おはしりの下をつかんでぐっと下にひきます。  
背中がしわがたふくなるまで、⑭と⑮をくりかえします。

⑯ エリをとめていたうしろのせんたくバサミをはずします。

完成!

⑩ ほそく



⑩の処理をしないと、おはしりがごわごわになってしまいます。

このあたりがごわごわ。

処理しないと、このあたりに4枚の布が重なる状態になってしまうので、横から折ったときに、ゴッとおはしりが絞るくちとひいてみえ子のです。

せんたくバサミではさんだあたりは、ちやうど帯でかくゆるエリ了たため、ゴワゴワしてはしません。おはしり、せんたくバサミたはしても、折りにめはできます。

だてじめをしめ子まえに、腰ひもをゆるく結ぶ理由。—

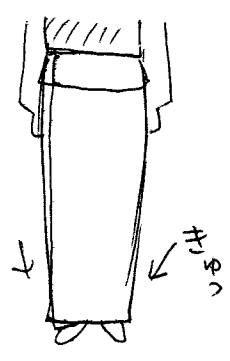
モスリンの腰ひもはかたまり摩擦カがあります。

着物や、じゆはんの素材にもよりますが、モスリンの腰ひもをほさむことで、ズレにくくなります。

結びはゆるゆるでも、ほさんでいるだけで、着崩れにくくなります。

きぬはなから、—

腰から下はすぼまるような形、かきぬといわれています。スッキリみえ子のです。



⑥で、はしをくいと上げたのと、⑦で、このあたりはしをくいとあげると下がすぼまります。